

愛知県図書館ってどんな所？



愛知県図書館は、平成3年4月、栄地区の愛知県文化会館内にあった「愛知図書館」の後を引き継ぎ、現在の名城地区（三の丸一丁目）にオープンしました。平成22年で開館20年目を迎えます。

◀ 図書館の窓からは豊かな緑と名古屋城が一望できます！

愛知県図書館の基本理念

- 「県民に開かれた図書館」
- 「資料情報センターとしての図書館」
- 「県内の市町村立図書館へのバックアップを行う図書館」
- 「愛知芸術文化センターの一翼を担う図書館」

市町村立図書館を支える愛知県図書館

- 100万冊以上の豊富な蔵書を活かして、県内の市町村立図書館に対して、資料の紹介や提供などの支援を行っています。
- 県内の情報ネットワークと資料搬送のための定期便を整備し、図書館間の資料の貸し借り（相互貸借）がスムーズにできるようにしています。市町村立図書館はこの定期便を利用することで、東海北陸圏内の図書館から無料で相互貸借をすることができます。
- 市町村立図書館に講師を派遣したり、研修会を開催し、市町村立図書館職員のスキルアップに貢献しています。

愛知県図書館は、県内唯一の県立公共図書館として、市町村立図書館に支援を行うことで、県民の皆様の読書・調査・研究のニーズにお応えしています。

コラム

図書館のない地域へのサービス

県内には60の市町村があり、図書館は分館を含めて93ありますが、その分布は都市部に集中しています。未だに図書館のない市町村は10箇所もあります。そういった地域へ、かつては愛知県図書館から自動車の移動図書館を運行していました。現在は公民館の図書室等に数百冊単位で図書を出す『貸出文庫』という形で、図書館のない地域への支援を行っています。

